

令和4年度 事業計画

- ◆ 万博記念公園内の一施設として、展示の質の向上や入館者の満足度向上に努め、園内の賑わい創出に貢献します。
- ◆ 不特定多数の入館者の増加に心がけ、また関連の民芸館・美術館・博物館・大学および百貨店ミュージアム等と連携を強めて民芸運動の普及啓発に努めます。
- ◆ 公益財団法人として、事業運営の安定した財政基盤を固めて、真に公益性の高い施設運営を目指します。

1. 民芸に関する公開展示事業

(1) 春季特別展

- ・ 展覧会名称：「今のかたち—西日本の民藝—」
- ・ 開催時期：令和4年3月5日(土)から7月18日(月・祝)
- ・ 記念講演会：演題：「民芸運動とその担い手としての現代作家—濱田庄司を起点に—」
講師：濱田琢司氏（関西学院大学文学部教授）
日時：令和4年6月19日(日)
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

(2) 秋季特別展

- ・ 展覧会名称：「濱田庄司と柳宗理—ふたりの館長—（仮）」
- ・ 開催時期：令和4年9月3日(土)から12月13日(火)
- ・ 記念講演会：演題：（タイトル未定）
講師：杉山亨司氏（日本民藝館学芸部長）
日時：令和4年10月中旬～11月初旬
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

2. 民芸関連機関との連携を通じた調査研究、収集ならびにショップ事業

- (1) 春季・秋季特別展関連の民芸品を中心に窯元、出版、家具・染織・紙製作者を通じ、作品を収集し、不特定多数の入館者（ミュージアムショップのみの来場者含む）に廉価で販売。
- (2) 全国17箇所の民芸館および関連の美術館・博物館の展示会情報を不特定多数の入館者（ミュージアムショップのみの来場者含む）に提供。

3. 民芸に関する調査研究ならびに普及啓発事業

(1) みんなげいぜみ及びワークショップ

様々な分野の指導講師による不特定多数の来館者を対象とした研修を実施することにより、民芸の基本的な知識について、普及啓発を図ることを目的として実施する。
秋季特別展の開催期間は未定。

①座談会－民藝とものづくりを語る－

第一回

演題：岩井窯×小鹿田焼×工芸店店主
講師：山本教行氏（陶芸家、クラフト館岩井窯主宰）
坂本 創 氏（小鹿田焼坂本工窯窯元）
高木崇雄氏（「工藝風向」店主、日本民藝協会常任理事）
日時：令和4年3月26日（土） 14:00～15:30
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

第二回

演題：森山窯×哲学者
講師：森山雅夫氏（森山窯陶工）
三宅康太氏（森山窯陶工）
鞍田 崇 氏（哲学者、明治大学理工学部准教授）
日時：令和4年6月5日（日） 14:00～15:30
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：40名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

②はじめての「民藝」

演題：未定
講師：小野絢子（大阪日本民芸館学芸員）
日時：令和4年7月10日（日） 14:00～15:30
会場：大阪日本民芸館会議室
定員：20名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）
なお、次回は秋季特別展に合わせ開催予定

③ワークショップ

演題：「スリッパウェアの模様を描く」
講師：山口和声氏（陶工）
日時：令和4年5月28日（土）・29日（日） 10:30～11:30 14:00～15:00
会場：大阪日本民芸館会議室
定員：各回10名（予約制）
参加費：28日（皿皿）4000円 29日（大皿）5500円
（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

(2) 手仕事の実演－かたちを作る－

現役の作り手方により実際の制作過程を実演いただき、手仕事に対する来館者の理解の深化を図る。いずれも館内無料スペースでのイベントとして実施する。

①糸紡ぎの日

内容：リネンの糸紡ぎ 実演者：石原良子氏（染織家）

木綿の糸紡ぎ 実演者：丹波布技術者協会

日時：令和4年4月10日（日） 11:00～16:00

②椅子の日

内容：椅子作り 実演者：小島 優 氏（椅子作家）

座面のペーパーコード編み

実演者：平松 源 氏（木漆工芸家）

日時：令和4年4月23日（土） 11:00～16:00

③焼き物の日

内容：ろくろ成形 実演者：河井一喜氏（陶芸家）

ろくろ成形 実演者：西堀志伸氏（露古壽窯陶工）

日時：令和4年7月3日（日） 11:00～16:00

(3) ギャラリートーク＜学芸員による展示解説＞

当館学芸員による、不特定多数の来館者を対象としたギャラリートークを実施することにより、開催中の展示に関し、より深く理解できるように導き、民芸の普及啓発を図ることとする。実施は月2回を原則に、全9回を予定する。

(4) みんなげい市

関西圏を中心とした作り手による陶磁器、木漆工作品・染織の展示販売を通じ、民芸の普及啓発を図るとともに若手作り手作家を支援する。

日時：令和4年5月14日（土）、15日（日）

会場：大阪日本民芸館周辺

参加民芸作家：20名程度 令和元年の来場者は約1,650名

参加費：無料

4. 資金調達ならびに設備投資について

令和4年度において、資金調達ならびに設備投資は予定しない。